

第1内科学総論

【Allergy, Immunology, Rheumatology, Infection, Endocrinology and Metabolism】

担当責任者 教授（第1内科学） 田中 良哉

ねらい

アレルギー性疾患、全身性自己免疫疾患(膠原病疾患、リウマチ性疾患)、免疫不全症、感染症の病因と病態を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法、及び治療法を習得する。殊に、発熱・全身倦怠感や関節痛などの全身症状や所見、全身の多臓器障害をもたらす症状と所見を、横断的、且つ多角的に習得することが要求される。

下垂体・甲状腺・副腎等によるホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とする代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得する。

糖尿病は全身疾患であり、信頼される産業医として活躍するためにも、非常に重要な疾患であり、この疾患の最新の治療等について、できるだけ幅広く習得する必要がある。

いずれの講義も、モデルコアカリキュラムのみならず医師国家試験出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. 免疫監視機構の概念とその異常・不均衡をもたらすアレルギー性疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の病態機構を理解する。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
2. 各種病原体による感染の成立、感染予防、感染対策を列挙することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-10)
3. アレルギー疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の症状、理学的所見、検査法、診断法、鑑別診断を系統立てて列挙し習得する。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10)
4. 上記疾患群間に併発する病態、診断、治療、病態や治療による多臓器障害について系統的・多角的に理解する。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10)
5. これらの疾患群、疾患群間に併発する病態の治療法を系統立てて列挙し理解する。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10)
6. ホルモンの概念、作用機構、その調節について理解する。(Ⅱ-1)
7. ホルモンの生理作用を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
8. ホルモン分泌及び作用異常症の概念とその症状、理学的所見、検査法、診断法、治療について習得する。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6)
9. 内分泌・代謝疾患の鑑別疾患を系統立てて列挙することができる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 年度末総合復習テスト(7割)、各講義毎の理解度チェックのための小テスト(3割)の結果を基に出席状況等を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、出席状況も加味して総合的に判断し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

1. Jameson編 Harrison's Principles of Internal Medicine 第20版 2018年 McGraw Hill出版
2. 矢崎義雄編 内科学 第11版 2017年 朝倉書店

○参考書

1. 日本リウマチ学会編 リウマチ病学テキスト改訂第2版 2016年 診断と治療社
2. 日本アレルギー学会編 臨床医のためのアレルギー診療ガイドブック 2012年 診断と治療社
3. 谷憲俊編 感染症学 改訂第四版 2010年 診断と治療社
4. 日本糖尿病学会編: 糖尿病ガイド 2020～2021 文光堂
5. 寺本民生、片山茂裕 編集: 内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
6. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集: 内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社
7. 荒木栄一、綿田裕孝 編集:最新インスリン療法改訂第2版 中山書店

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.8	金	3	免疫系の構成・機能、膠原病総論 (医師国家試験出題基準 III-10, XI-2)小テスト	C	3	(2)	田中 良哉
"	"	4	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群(XI-2) 小テスト	E	4	(3)	"
"	"	5・6	関節リウマチと類縁疾患(悪性関節リウマチ、脊椎関節炎、 成人Still病など)(XI-2)小テスト	"	"	"	"
10.13	水	7・8	全身性強皮症、皮膚筋炎、MCTD、Sjogren症候群、リウマチ 性多発筋痛症、IgG4関連疾患など(XI-2)小テスト	"	"	"	中山田 真吾
10.15	金	3・4	顕微鏡的多発血管炎、及び高安動脈炎、IgA血管炎、ペー チュット病など血管炎を主とする類縁疾患(XI-2)小テスト	"	"	"	園本 格士朗
10.20	水	5・6	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群 (※) (XI-3,4)小テスト	C	3	(2)	齋藤 和義
"	"	7	アレルギー総論(V-5)小テスト	"	"	(1)	岩田 慈
"	"	8	アレルギー性疾患(全身性アレルギー)(XI-1-C-A)小テスト	E	4	(3)	"
10.21	木	5・6	アレルギー性疾患(呼吸器アレルギー)(XI-1-C)小テスト	"	"	"	"
10.22	金	3・4	アレルギー性疾患(皮膚、粘膜アレルギー)(XI-1-B) 小テスト	"	"	"	中村 元信
10.28	木	5・6	ウイルス感染症(XII-1) ウイルス感染対策、 新型コロナウイルス感染対策小テスト (※)	"	2	(4)	鈴木 克典
10.29	金	3・4	寄生虫、プリオン、その他の病原体(XII-2-5) 小テスト (※)	"	"	"	清水 少一
11.5	"	1・2	内分泌器官の構造・機能(III-9)小テスト	D	12	(1)~(4)	岡田 洋右
11.10	水	3・4	下垂体前葉機能亢進症(X-1-E, F)小テスト	"	"	"	"
"	"	5・6	" (X-1-G, H, I)小テスト	"	"	"	"
11.11	木	5・6	下垂体前葉機能低下症(X-1-J, K, L)小テスト	"	"	"	"
11.12	金	1・2	下垂体後葉・水代謝(X-1-M, N)小テスト	"	"	"	"
11.16	火	1・2	甲状腺ホルモンの生合成・分泌・機能検査(X-2)小テスト	"	"	"	黒住 旭
11.25	木	5・6	糖尿病(X-5-A)小テスト	"	"	"	西田 啓子
12.6	月	3	感染症総論(病態、症候、診断、検査、治療、V-4) 小テスト (※)	E	2	(1)~(5)	鈴木 克典
"	"	4	感染症総論(感染制御、院内感染、性感染症等V-4) 小テスト (※)	"	"	"	"
12.7	火	7・8	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2)小テスト	D	12	(1)~(4)	田中 健一
12.13	月	3・4	細菌、真菌、クラミジア、マイコプラズマ感染症(XII- 2-5)小テスト (※)	E	2	(4)	鈴木 克典
12.14	火	7・8	副甲状腺・Ca代謝(X-2-L, M)小テスト	D	12	(1)~(4)	田中 健一
12.21	火	6・7	甲状腺機能亢進症、破壊性甲状腺炎(X-2-A, F)小テスト	"	"	"	黒住 旭
12.24	金	6・7	甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎(X-2-B, D)小テスト	"	"	"	"